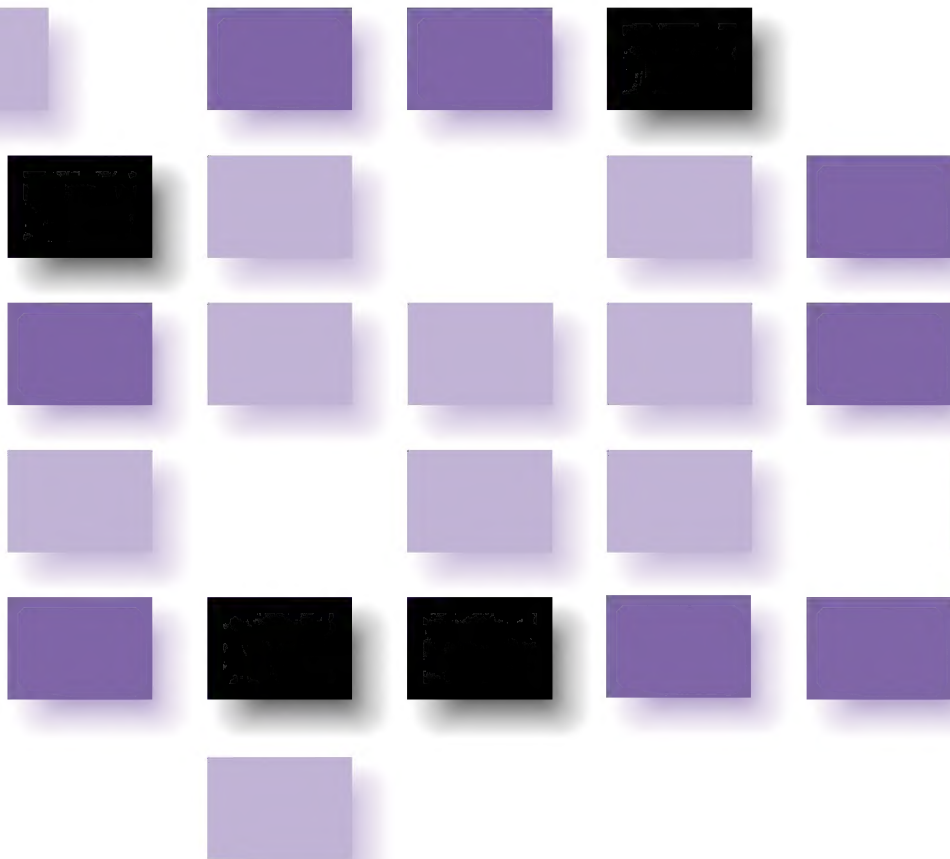
EPSON

EMP-7900

クイックリファレンスガイド

お使いになる前には、取扱説明書をよくお読みください。

⚠警告

レンズをのぞかないでください。

設置

スクリーンから本機のレンズまでの距離が77cm～1113cmになるように本機を設置してください。距離が近くなるほど投写映像は小さくなり、遠くなるほど大きくなります。スクリーンのサイズにより距離を変更してください。
オプションレンズを装着している場合は、レンズに添付の『取扱説明書』をご覧ください。

☛『取扱説明書』「スクリーンサイズと投写距離」

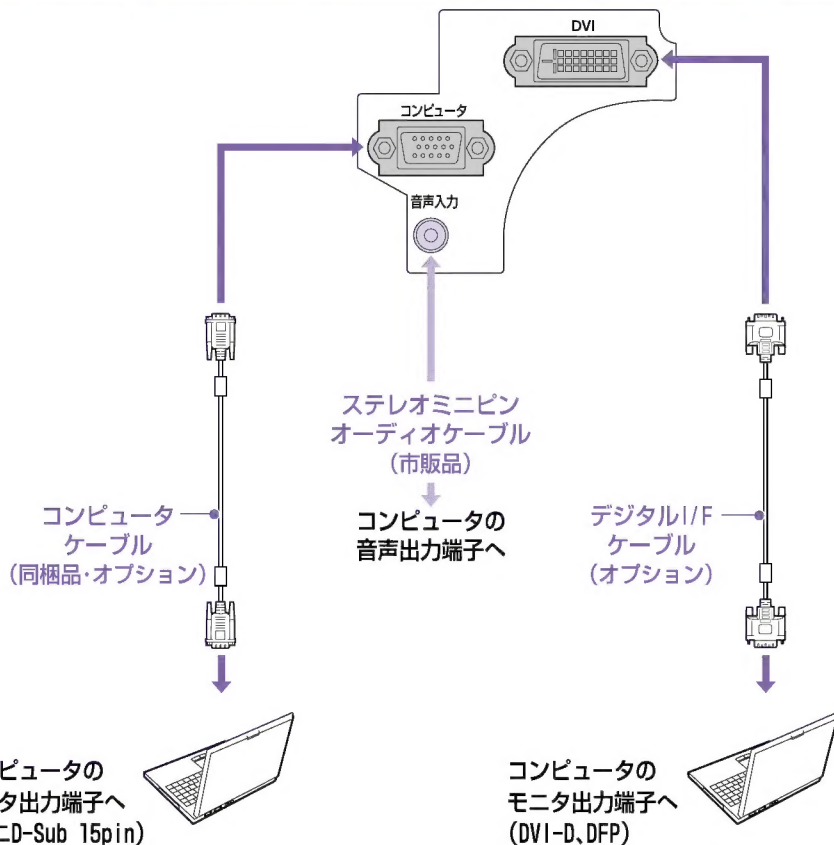
接続

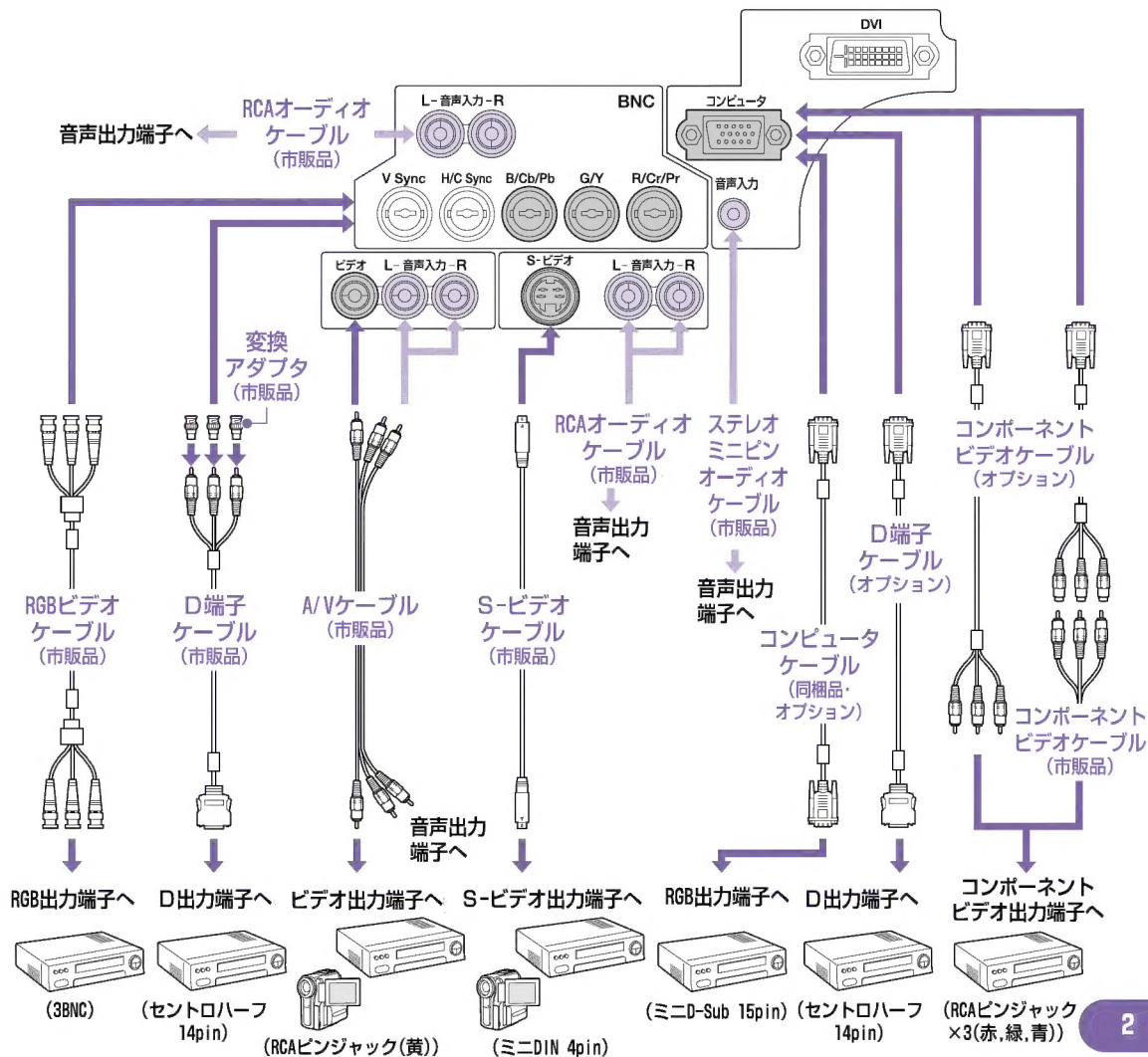
接続は必ずそれぞれの機器の電源を切った状態で行ってください。

☛『取扱説明書』「コンピュータとの接続」「ビデオ機器との接続」

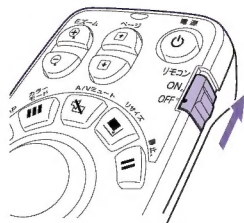
コンピュータと接続する場合

［音声入力］端子は、同じ枠内の映像入力端子と1対1で対応しています。

［DVI］端子か［コンピュータ］端子と接続している場合は、環境設定メニューの「音声」→「コンピュータ/DVI音声入力」で出力する音声をどちらか一方に限定できます。

ビデオ機器と接続する場合

[音声入力]端子は、同じ枠内の映像入力端子と1対1で対応しています。

投写までの手順と調整

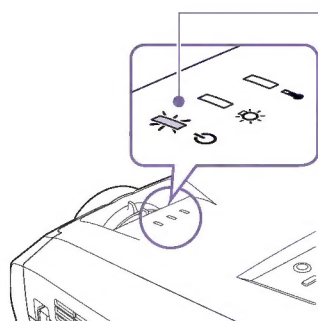
☛『取扱説明書』「電源を入れ投写しよう」

1 [リモコン]スイッチをONにします。

- 電源ケーブルが本機とコンセントに接続されていることを、確認してください。
- 環境設定メニューの「高度な設定2」→「ダイレクトパワーオン」を「ON」に設定していると、電源プラグをコンセントに差し込むと同時に、本機の電源がONになり投写を開始します。

☛『取扱説明書』「高度な設定2メニュー」

2 入力機器の電源を入れます。

ビデオ機器の場合は、[再生]や[プレイ]ボタンを押します。

3 ⏻(電源)を押します。

しばらくすると投写を開始します。

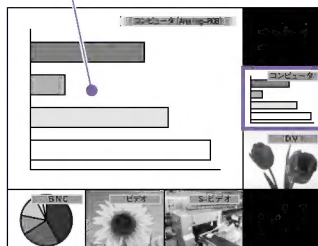
パスワードプロテクトを有効にしている場合は、電源プラグをコンセントに接続後、初めて本機の電源を入れるとパスワード入力画面が表示されます。パスワードを入力してください。

☛『取扱説明書』「利用者を管理する（パスワードプロテクト）」

4 投写映像を選択します。

- 本機に接続している機器が1台だけの場合は、自動的に投写を開始します。
- 本機に接続している機器が複数の場合は、[入力切替]で投写したい映像ソースを選択します。

入力されている
すべての映像を見ながら
投写映像を選ぶには…
（プレビュー機能）

アクティブ画面

1. プレビュー 7 を押します。

[入力切替]ボタンで目的の映像ソースを選択すると、映像が直接切り替わります。

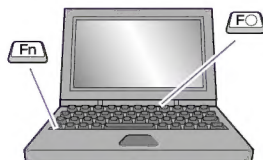
2. 映像を詳細に見たいときは、アクティブ画面に切り替えます。

を傾け映像を選択し、 を押します。

3. アクティブ画面の映像を投写します。

Enter を押します。

☛『取扱説明書』
「映像を見ながら投写映像を選ぶ（プレビュー機能）」

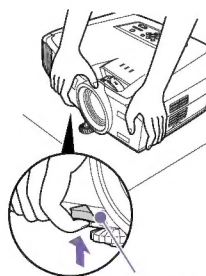
ノートPCの映像に切り
替わらないときは…

出力切り替えの一例	
エプソンダイレクト	Fn + F8
NEC	Fn + F3
Panasonic	Fn + F3
東芝	Fn + F5
IBM	Fn + F7
SONY	Fn + F7
富士通	Fn + F10
Macintosh	ミラーリングの設定、または ディスプレイの検出を行う。

キーや設定によって映像信号の出力先を切り替える必要があります。
切り替えは Fn を押したまま F○ （□ ／ □ などの記載がキー上にある）を押して行います。
切り替え後、しばらくすると投写を開始します。

☛ コンピュータの『取扱説明書』

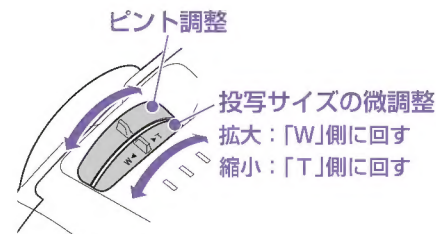
以上の対処をしても映像が投写されない場合は、p.12をご覧ください。

投写映像を調整するには

投写角度を調整する

フットレバーを引いたまま本機を持ち上げて調整します。本機を傾けると、「自動台形補正」が働きます。

フロントフットを収納するには、フットレバーを引いたまま本機をゆっくり降ろします。

『取扱説明書』「フットの調整」

投写サイズとピントを調整する

『取扱説明書』
「ズーム調整」「フォーカス調整」

- 水平方向の傾きは左右のリアフットで調整します。

- 自動台形補正の結果、画面の高さが低くなった場合は、次の手順で高さ補正を行います。

  環境設定メニュー「設定」→「台形補正」→「タテヨコ」→「高さ補正」

『取扱説明書』「高さ補正」

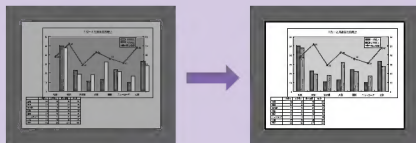
投写映像をスクリーンピッタリにする(Quick Corner)

4つの角を補正してスクリーンピッタリに投写することができます。自動台形補正と一緒に使うことはできません。

1. メニュー を押します。
   「設定」→「台形補正」→「Quick Corner」を選択します。
2. 補正する角を選びます。
   Enter を押します。
3. 角の位置を補正します。
   を傾けます。

補正を終了するときは メニュー を押します。

『取扱説明書』「スクリーンピッタリに台形補正する(Quick Corner)」

黒板や壁などに投写したいとき

■ Wall Shot機能

映像を映す面が白くなくても、映像本来の色に自動補正して投写できます。
また、部屋の明るさに応じて階調補正も行います。

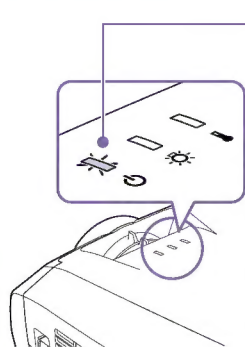
1. Wall Shot (4) を押します。
   画面上に現在の状態が表示されます。
2. 表示されている間に Wall Shot (4) を押して「Wall Shot ON」に切り替えます。
   赤 → 緑 → 青 → 黒の順で約5秒間表示されたあと、補正された映像が投写されます。

☛『取扱説明書』「Wall Shot機能」

本機の電源を切ると次回は、「Wall Shot OFF」の状態で投写を開始します。再度同じ場所で投写するときは、Wall Shot (4) を2回押すと、測定せずに前回の測定値で投写します。Wall Shot (4) を押すたびに「Wall Shot OFF」→「Wall Shot ON」→「Wall Shot メモリ呼出」の順で状態が切り替わります。

終了の手順

☛『取扱説明書』「電源を切り終了しよう」

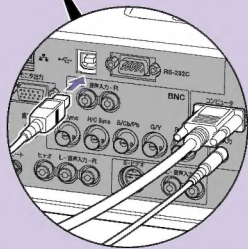
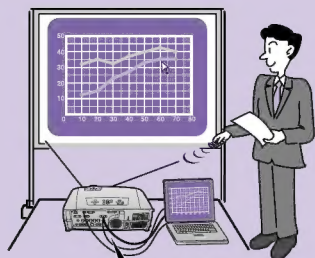
1. 接続している機器の電源を切ります。
2. 電源 (⏻) を2回押して電源を切ります。
3. [リモコン]スイッチをOFFにします。

⏻インジケータ
オレンジ色の点滅※（クールダウン中/約20秒）
→ オレンジの点灯

※オレンジ色に点滅しているときに電源ケーブルを抜くと故障の原因となります。

「内部温度が上昇しています。吸排気口付近の障害物を取り除き、エアーフィルタの掃除や交換を行ってください。」と表示された場合は、Enter を押して電源を切り、すみやかにエアーフィルタの掃除や交換をしてください。

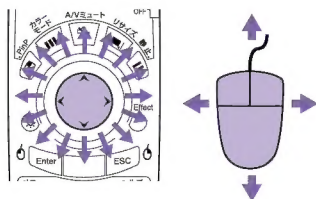
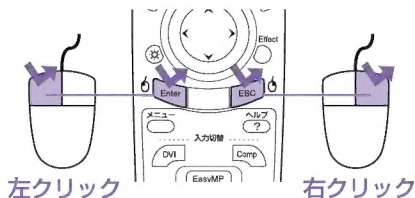
☛『取扱説明書』「エアーフィルタ・吸気口の掃除」「エアーフィルタの交換方法」

長期間お使いにならないときは、電源ケーブルのプラグをコンセントから抜いてください。

リモコンを使って一人でプレゼンするとき

ワイヤレスマウス機能を使うには、コンピュータケーブルでコンピュータを接続するのに加えて、USBケーブルでの接続も必要です。
コンピュータのUSB端子と本機の[USB]端子を、同梱のUSBケーブルで接続してください。

■ワイヤレスマウス機能

コンピュータの映像を投写するときに、同梱のリモコンでコンピュータのマウスポインタを操作できます。

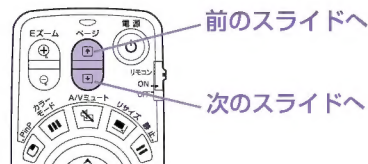
マウスポインタの移動

マウスクリック

ダブルクリック：すばやく2回押します。

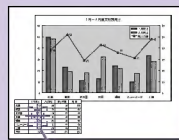
ドラッグ＆ドロップ

1. [Enter]を約1.5秒間押し続けます。
   [Enter]が点灯し、ドラッグモードになります。
2. ( )を傾けてドラッグします。
3. [Enter]を押すとドロップします。

[ESC]も同様にドラッグ&ドロップができます。

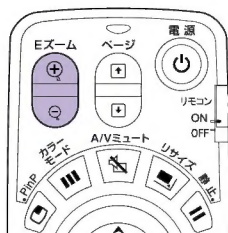
PowerPointのスライドショーで
前のスライドを表示／次のスライドを表示

コンピュータのバージョンや使用している機能によって、ワイヤレスマウスの操作が行えない場合があります。

☛『取扱説明書』「リモコンでマウスポインタを操作する（ワイヤレスマウス機能）」

投写映像を部分的に拡大したいとき

	1月売上	2月売上
札幌	50	48
東京	23	19
名古屋	11	18
大阪	13	32
福岡	24	22
ニューヨーク	10	17
上海	33	28
合計	164	184

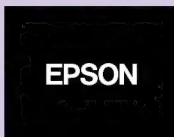
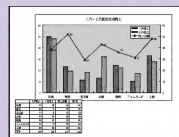
ターゲットスコープ

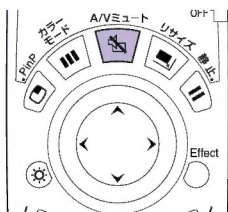
■Eズーム機能

グラフや表の細目などの見たい部分を拡大／縮小できます。

1. Eズーム を押します。
   ターゲットスコープが表示されます。
2. ターゲットスコープを拡大したい部分に移動します。
   を傾けます。
3. 拡大する: Eズーム を押します。
   拡大した画面を縮小する: を押します。

解除するには ESC を押します。

『取扱説明書』「Eズーム機能」

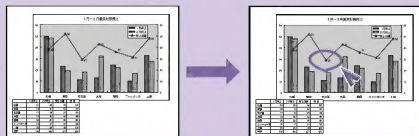
映像と音声を一時的に消したいとき

■A/Vミュート機能

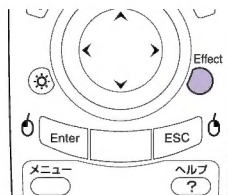
投写するファイルの切り替えなど、操作内容を見せたくない場合に使います。

A/Vミュート を押します。
映像と音声が消えます(A/Vミュート中)。

A/Vミュート を再び押します。
A/Vミュートが解除されます。

『取扱説明書』「A/Vミュート機能」

- 動画の場合は、A/Vミュート中も映像と音声は進んでいますので、消したときの場面からは再開できません。
- A/Vミュート中の状態を、環境設定メニューの「設定」→「A/Vミュート」で「黒」、「青」、「ユーザーロゴ」の中から選ぶことができます。

注目させたい部分をアピールするとき

■エフェクト機能

投写映像の説明をしている部分をポインタアイコンで指し示したり、線を引いて注目させるときに使います。

ポインタアイコンを使う

1. を押します。
   ポインタアイコンが表示されます。
   Effect を押すたびに3種類のアイコンが切り替わります。
2. を傾けるとポインタアイコンが移動します。

直線を描く

1. Effect を押します。
   ポインタアイコンが表示されます。
2. 線の始点にポインタアイコンを移動します。
3. Enter を押して始点を決定します。
4. ポインタアイコンを線の終点まで移動させ Enter を押すと直線が描けます。

フリーハンドで曲線を描く

1. Effect を押します。
   ポインタアイコンが表示されます。
2. 線の始点にポインタアイコンを移動します。
3. Enter を約1.5秒押すと Enter が点灯します。
4. でポインタアイコンを移動すると、移動したとおりに線が引かれます。
5. 曲線の終点で Enter を押します。

解除するには ESC を押します。アイコンや描いた線がすべて消去されます。

☛『取扱説明書』「エフェクト機能」

環境設定メニューの「エフェクト」でポインタアイコンの種類や大きさ、移動速度、描く線の色や太さを設定できます。

その他の便利な機能

押すたびに次の順で切り替わります。

プレゼンテーション → シアター → リビング → sRGB → ダイナミック →

☛『取扱説明書』「映り具合を選ぶ（カラーモード選択）」

押すたびに、登録してある「映像」メニューの設定状態（入力解像度やトラッキング等）を呼び出せます。
（コンピュータのアナログRGB信号の映像を投写中のみ有効）

☛『取扱説明書』「プリセット機能」

押すたびに映像を一時停止／解除します。

☛『取扱説明書』「静止機能」

現在、投写している画面（親画面）の中に、別の映像を小さな画面（子画面）で投写できます。

☛『取扱説明書』「PinP機能」

ランプの明るさを2段階で切り替えることができます。暗い部屋や小さなスクリーンに投写した場合に、映像が明るすぎるときは「低輝度」に設定します。低輝度で使用するとランプ寿命が延びます。

☛『取扱説明書』「高度な設定2メニュー」

ネットワークを使って、複数のプロジェクターの状態を監視したり、電源のON/OFFや映像ソースの切替ができます。
また、プロジェクターに異常が発生した場合は、プロジェクター自らが電子メールで状態を送信することができます。

☛『取扱説明書』「ネットワークを使ったプロジェクターの監視・制御」

環境設定メニュー一覧

『取扱説明書』「環境設定メニューの機能と操作」

トップメニュー　　サブメニュー

映像

コンピュータ (Analog-RGB) / RGBビデオ	コンピュータ (デジタル-RGB) 入力時	コンポーネントビデオ入力時	S-ビデオ/コンポジットビデオ入力時
表示位置	明るさ	表示位置	表示位置
トラッキング	コントラスト	明るさ	明るさ
同期	シャープネス	コントラスト	コントラスト
明るさ	カラーモード	色の濃さ	色の濃さ
コントラスト	初期化	色合い	色合い
シャープネス		シャープネス	シャープネス
カラーモード		カラーモード	カラーモード
入力解像度		初期化	ビデオ信号方式
プリセット登録			初期化
初期化			

音声

- コンピュータ/DVI音声入力
- 音量
- 高音
- 低音
- 初期化

エフェクト

- ポインタ/ライン1
- ポインタ/ライン2
- ポインタ/ライン3
- ポインタ移動速度
- 初期化

設定

- 台形補正
- P in P 子画面
- ノーシグナル表示
- メッセージ表示
- A/V ミュート
- コンピュータ入力
- BNC入力
- スリープモード
- 初期化

ユーザーロゴ

- 実行

高度な設定1

- スタートアップスクリーン
- プログレッシブ変換
- カラー調整
- リア
- 天吊り
- 待機モード
- 言語
- 初期化

高度な設定2

- 輝度切替
- プロジェクターID
- ネットワーク
- 通信ポート
- 自動調整
- BNC Syncターミネーション
- ダイレクトパワーオン
- 操作ボタンロック
- 初期化

情報

コンピュータ (Analog-RGB,Digital-RGB), コンポーネントビデオ/RGBビデオ入力時	S-ビデオ/コンポジットビデオ入力時
ランプ点灯時間 (高輝度) (低輝度)	ランプ点灯時間 (高輝度) (低輝度)
ランプ点灯時間初期化	ランプ点灯時間初期化
映像ソース	映像ソース
入力信号	ビデオ信号方式
周波数	
同期極性	
同期モード	
入力解像度	
リフレッシュレート	

全初期化

- 実行

コンピュータの映像に切り替わらない/正しく映らないときは

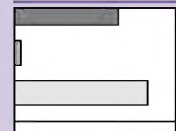
本機を正しく設置･接続しているのに投写に問題があるときは、下記の点を確認してみてください。

以下をご覧になっても解決できないときは 『取扱説明書』「インジケータを見てもわからないときは」

コンピュータの映像に切り替わらない

確認	対処
接続の作業を、本機やコンピュータの電源が入っている状態で行いましたか？	電源を入れた状態で接続を行うと、コンピュータの映像信号を外部に切り替える[Fn]（ファンクションキー）が使えないことがあります。接続しているコンピュータと本機の電源を入れ直してください。
コンピュータの表示の出力先が、コンピュータ付属の画面のみに設定されていませんか？	外部に映像信号を出力させます。外部のみ、または外部と付属のモニタ両方同時に出力されるように設定を切り替えてください。 コンピュータの『取扱説明書』「外部出力のしかた」や「外付けモニタへ出力のしかた」など
入力中の映像信号の種類と本機の設定は合っていますか？（[コンピュータ]端子、または[BNC]端子に接続時）	環境設定メニューの「設定」→「コンピュータ入力」、または「BNC入力」で機器の信号に合った信号方式に設定してください。

映像が緑がかっている/赤紫がかっている

確認	対処
入力中の映像信号の種類と本機の設定は合っていますか？（[コンピュータ]端子、または[BNC]端子に接続時）	環境設定メニューの「設定」→「コンピュータ入力」、または「BNC入力」で機器の信号に合った信号方式に設定してください。

映像が切れる
一部しか投写されない

確認	対処
コンピュータでデュアルディスプレイの設定をしていませんか？	接続しているコンピュータのコントロールパネルの「画面のプロパティ」でデュアルディスプレイの設定を解除します。 コンピュータのビデオドライバ『取扱説明書』など

ヘルプを見る

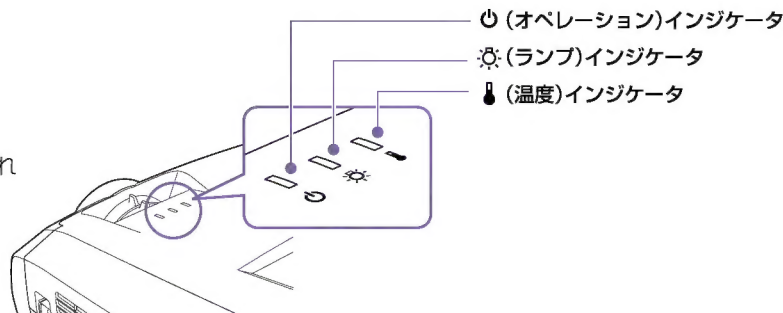
トラブル発生時の解決方法を投写画面に表示できます。

ヘルプ（?）を押して、質問に答える形式で階層を進んでいきます。

『取扱説明書』「ヘルプの見方」

インジケータの見方

本体のインジケータで本機の状態を確認できます。
下図でそれぞれの状態を確認し、手順に従って対処してください。
インジケータがすべて消灯している場合は、電源ケーブルが正しく接続されていないか、または電気が供給されていません。

『取扱説明書』「インジケータの見方」

インジケータが赤く点灯／点滅しているとき 異常/警告

点灯 点滅 消灯

インジケータ	状態	対処
赤(点灯) 赤(点滅) 赤(点滅)	内部異常	電源プラグをコンセントから抜きます。お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンター(裏表紙記載)に修理を依頼してください。
赤(点灯) 消灯 赤(点滅)	ファン異常 センサ異常	
赤(点灯) 赤(点滅) 消灯	ランプ異常 ランプ点灯失敗 ランプ切れ	ランプが割れていないか確認してください。電源プラグをコンセントから抜き、ランプが十分に冷えるまで(約1時間)待ってから行ってください。

『取扱説明書』「ランプの交換方法」

ランプが割れていなければ

ランプを再セットし、本機の電源を入れます。→ 直らないときは、新しいランプと交換してください。→ ランプを交換しても直らないときは、ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜いてください。お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンター(裏表紙記載)に修理を依頼してください。

ランプが割れているときは

お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンター(裏表紙記載)に、ランプ交換を依頼してください。

インジケータ	状態	内容		
赤 赤 (電源:点灯、ランプ:消灯、温度:点灯)	内部高温異常(オーバーヒート)	ランプが自動的に消灯し投写できなくなります。 約5分間そのままの状態で待ちます。 その後、右の点を確認してください。	●壁などの近くに設置している場合は、設置場所を移動してください。 ●エアーフィルタが目詰まりしていると きは、掃除をしてください。	改善されないときは、ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜いてください。 お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンター(裏表紙記載)に修理を依頼してください。
赤 オレンジ (電源:点滅、ランプ:消灯、温度:点滅)	高速冷却中	このまま投写を続け、さらに高温になると投写を自動的に停止します。 右の点を確認してください。		

インジケータがオレンジで点滅しているとき 警告

点灯　点滅　消灯

インジケータ	状態	内容
オレンジ (電源:点灯、ランプ:点滅、温度:消灯)	ランプ交換勧告	ランプの交換時期です。すみやかに新しいランプに交換してください。 ご使用を続けますとランプが破裂する恐れがあります。 『取扱説明書』「ランプの交換方法」

インジケータが緑・オレンジで点灯／点滅しているとき 正常

点灯　点滅　消灯

インジケータ	状態	内容
オレンジ (電源:点灯、ランプ:消灯、温度:消灯)	スタンバイ状態	電源 を押すと、ウォームアップ終了後に投写を開始します。
緑 (電源:点滅、ランプ:消灯、温度:消灯)	ウォームアップ中	ウォームアップの時間は約30秒です。 ウォームアップ終了後、緑色の点灯に変わり投写を開始します。
緑 (電源:点灯、ランプ:消灯、温度:消灯)	投写中	通常動作中です。
オレンジ (電源:点滅、ランプ:消灯、温度:消灯)	クールダウン中	クールダウンは約20秒で終了します。 クールダウンが終了すると、スタンバイ状態になります。 クールダウン中はリモコン、操作パネルからの操作は無効になります。

対応解像度一覧

☛『取扱説明書』「対応解像度一覧」

信号	リフレッシュレート(Hz)	解像度(ドット)	リサイズ表示時画素数（ドット）
VGAEGA		640×350	1024×560
VGA	60/72/75/85/100/120, iMac※1	640×480	1024×768
SVGA	56/60/72/75/85/100/120, iMac※1	800×600	1024×768
XGA	60/70/75/85/100/120, iMac※1	1024×768	1024×768
SXGA	70/75/85/100	1152×864※2	1024×768
SXGA	60/75/85	1280×960※2	1024×768
		1280×1024※2	960×768
SXGA+	60/75/85	1400×1050※2	1024×768
UXGA	60/65/70/75/80/85	1600×1200※2	1024×768
MAC13"		640×480	1024×768
MAC16"		832×624	1024×768
MAC19"		1024×768	1024×768
MAC21"		1152×870※2	1016×768
SDTV (525i, 525p, 625i, 625p)			1024×768(4:3アスペクト比) 1024×576(16:9アスペクト比)
HDTV(750p)			1024×576
HDTV(1125i)			1024×576

※1　VGA 出力ポートが装着されていない機種には接続できません。
※2　リアル表示時は仮想（ウィンドウ）表示になります。
上記以外の信号が入力された場合でも、映像を投写できることがあります。ただし、この場合、機能が制限されることがあります。

修理に関するお問い合わせ
出張修理・保守契約のお申し込み先

●エプソンサービスコールセンター　*携帯電話・PHS端末・CATVからはご利用いただけませんので、(042) 582-6888までお電話ください。
ナビダイヤル 0570－004141（ナビダイヤル）【受付時間】9:00～17:30　月～金曜日（祝日・弊社指定休日を除く）

製品に関するご質問・ご相談

●プロジェクターインフォメーションセンター　*携帯電話・PHS端末・CATVからはご利用いただけませんので、(0263) 54-5800までお電話ください。
ナビダイヤル 0570－004110（ナビダイヤル）【受付時間】月～金曜日9:00～20:00　土曜日10:00～17:00（祝日・弊社指定休日を除く）

*ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ㈱の電話サービスの名称です。
*新電電各社をご利用の場合、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。
ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご依頼ください。

この取扱説明書は
再生紙を使用しています。

環境にやさしい大豆油インキ
を使用しています。

Printed in China
405138000
04.XX-XA(G04)